

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 29 年 4 月 27 日 (2017.4.27)

【公開番号】特開 2015-125936 (P2015-125936A)

【公開日】平成 27 年 7 月 6 日 (2015.7.6)

【年通号数】公開・登録公報 2015-043

【出願番号】特願 2013-270489 (P2013-270489)

【国際特許分類】

H 0 1 H 1/04 (2006.01)

H 0 1 H 1/023 (2006.01)

H 0 1 H 11/04 (2006.01)

C 2 2 C 5/06 (2006.01)

C 2 2 C 1/04 (2006.01)

【 F I 】

H 0 1 H 1/04 A

H 0 1 H 1/02 A

H 0 1 H 11/04 E

H 0 1 H 11/04 D

C 2 2 C 5/06 C

C 2 2 C 1/04 P

H 0 1 H 1/02 B

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 3 月 21 日 (2017.3.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

S n が 3 ～ 10 質量%、I n が 1 ～ 10 質量%、残部が A g からなり、S n および I n が酸化物として A g に含まれる A g - 酸化物系合金の接点と、N i が 0 . 1 ～ 20 質量%、W および / もしくは W C が 1 ～ 30 質量%、残部が A g からなるA g 合金の接点とを相対向に配置したことを特徴とする電気接点。

【請求項 2】

S n が 3 ～ 10 質量%、I n が 1 ～ 10 質量%、N i が 0 . 1 ～ 0 . 3 質量%、残部が A g からなり、S n、I n および N i が酸化物として A g に含まれる A g - 酸化物系合金の接点と、N i が 0 . 1 ～ 20 質量%、W および / もしくは W C が 1 ～ 30 質量%、残部が A g からなるA g 合金の接点とを相対向に配置したことを特徴とする電気接点。

【請求項 3】

S n が 3 ～ 10 質量%、I n が 1 ～ 10 質量%、残部が A g からなり、S n および I n が酸化物として A g に含まれる A g - 酸化物系合金の接点と、N i が 0 . 1 ～ 20 質量%、W および / もしくは W C が 1 ～ 30 質量%、G r が 1 ～ 30 質量%、残部が A g からなるA g 合金の接点とを相対向に配置したことを特徴とする電気接点。

【請求項 4】

S n が 3 ～ 10 質量%、I n が 1 ～ 10 質量%、N i が 0 . 1 ～ 0 . 3 質量%、残部が A g からなり、S n、I n および N i が酸化物として A g に含まれる A g - 酸化物系合金の接点と、N i が 0 . 1 ～ 20 質量%、W および / もしくは W C が 1 ～ 30 質量%、G r

および / もしくは D L C が 1 ~ 3 0 質量 %、残部が A g からなる A g 合金の接点とを相対向に配置したことを特徴とする電気接点。

【請求項 5】

Ag合金の接点が焼結体であることを特徴とする請求項 1 乃至請求項 4 の何れか一項に記載の電気接点。

【請求項 6】

A g - 酸化物系合金の接点が内部酸化法を含む工程で製造され、Ag合金の接点が粉末焼結法を含む工程で製造されることを特徴とする、請求項 1 乃至請求項 4 の何れか一項に記載の電気接点の製造方法。